

宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画の概要

○「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」(令和5年3月策定)に基づき、県内の未利用資源を有効活用しながら、環境負荷低減に資する生産体制の構築や、環境に配慮した県産品の開発の促進、消費者理解の醸成及び消費拡大に取り組むとともに、モデル地区(特定区域)を設定し、スマート施設園芸団地や有機農業の産地形成に取り組む。

【作成主体】 宮城県及び県内全35市町村

【計画の主な目標】

- ・ 有機JAS取組面積 500ha (R12)
- ・ 農業者の家畜排せつ物利用量 109.3万トン (R12)
- ・ 農林水産業における温室効果ガス排出量 105.6万トン (R12) ※CO2換算

【取組のポイント】

県内の未利用資源を有効活用しながら、持続的生産体制の構築に向けた環境負荷低減や省力化に取り組むとともに、サプライチェーンの合理化や環境に配慮した県産品の商品づくりを促進し、消費者理解の醸成と消費拡大に取り組む。

【特定区域の設定】

○有機農業の生産活動の取組

みさとまち 南郷地区) 、 ながごう 涌谷町 (猪岡短台地区) 、 わくやちよう 登米市 (全域) 、 いのおかたんだい 大崎市 (全域) 、 とめし 加美町 (全域) 、 おおさきし

○温室効果ガスの排出量の削減に資する生産活動

みさとまち 中淬地区)

○先端的な技術を活用して行う生産活動

やまもとちよう 山元町 (山下地区、坂元地区) 、 やました 大崎市 (全域) 、 さかもと

未利用資源の活用拡大



堆肥センター



農地へ堆肥散布



環境負荷低減に資する農業生産の推進



規格外農産物等を活用した商品開発



生産者との交流